OLYMPUS CAMEDIA

デジタルカメラ X-2
クイックスタートガイド

このたびは、オリンパス製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本書は、すぐに撮影にとりかかりたい方のために、撮影の基本、メニュー操作などを説明したガイドです。詳しくは、別冊の取扱説明書をお読みください。

箱の中身を確認する

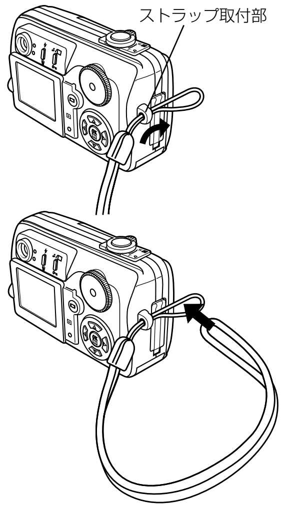
- ☐ デジタルカメラ
- ☐ ストラップ
- ☐ リチウムイオン電池
- ☐ 充電器
- ☐ 充電器電源ケーブル
- ☐ xDピクチャーカード（32MB）
- ☐ リモコン
- ☐ USBケーブル
- ☐ ビデオケーブル
- ☐ ソフトウェアCD（USB ドライバなど収録）
- ☐ 取扱説明書
- ☑ クイックスタートガイド（本紙）
- ☐ デジタルカメラ／パソコン接続操作説明書
- ☐ 保証書・ご愛用者登録ハガキ

ストラップを取り付ける

1 ストラップ取付部にストラップの短い方を通します。

2 ストラップの長い方を輪にくぐらせます。

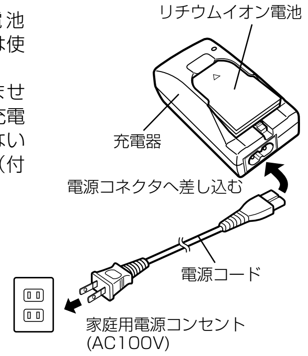
3 少し強めに引っ張り、ゆるんで抜けないことを確認してください。



−01
VT4029

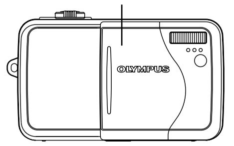
電池について

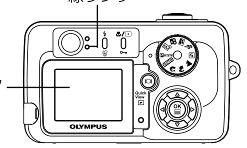
このカメラでは当社製リチウムイオン電池（LI-10B）1個を使用します。それ以外の電池は使用できませんのでご注意ください。
お買い上げの際の電池は十分に充電されていません。ご使用の前に専用の充電器（LI-10C）で充電をしてください。専用の充電器以外は使用しないでください。詳しくは、充電器の取扱説明書（付属）をお読みください。



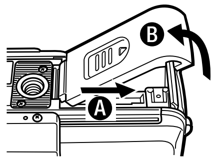
電池・カードを入れる／取り出す

1 カメラの電源が入っていないことを確認します。
- レンズバリアが閉じている。
- 液晶モニタが消灯している。
- 緑ランプが消灯している



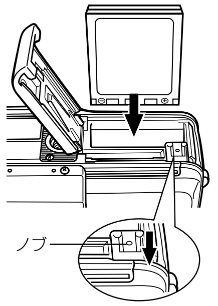


2 電池／カードカバーを❹の方向にスライドさせて、❺の方向へ引き上げます。



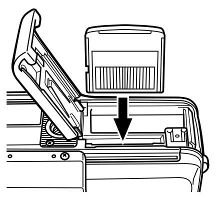
3 ■ 電池を入れる
電池の向きを正しく合わせて入れます。
- ノブがしっかりロックされていることを確認します。正しくロックされていないと、カバーを開けた際に電池が飛び出すことがあります。

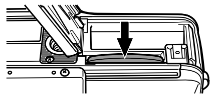
■ **電池を取り出す**
矢印方向にノブをスライドさせます。電池が出てきたら、つまんで取り出します。



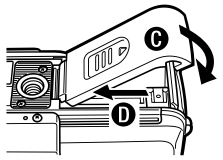
■ **カードを入れる**
カードの向きを正しく合わせて入れます。
- カードが斜めに入らないようにまっすぐに押し込みます。
- カードの向きを間違えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できなくなることがあります。

■ **カードを取り出す**
カードを一度奥に向かって押します。カードが出てきたら、つまんで引き抜きます。





4 電池／カードカバーを❻の方向に閉じ、❼の方向にスライドさせます。

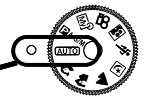


注意
- カメラ作動中やパソコンとの通信中には、絶対に電池／カードカバーを開けたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。
- 破壊されたデータの復旧はできません。
- カードを取り出す際に、カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくように押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

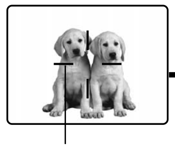
静止画を撮る

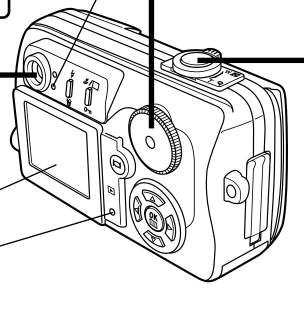
AUTO フルオート撮影モード

1 モードダイヤルを AUTO にして、レンズバリアを開きます。
- 電源が入り、レンズが自動的に前に出てきます。
- 液晶モニタが点灯します。



2 ファインダまたは液晶モニタを見て、AFターゲットマークに被写体を合わせます。





3 ピントを合わせるため、シャッターボタンを軽く押します。（半押し）
- ピントが合うと、緑ランプが点灯します。

4 シャッターボタンを半押しした状態から、さらに押し込みます。
- 撮影されると、カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。
- フラッシュが必要な条件では、フラッシュが自動的に発光します。

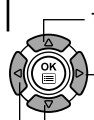
電源を切るときは、レンズバリアを閉じます。

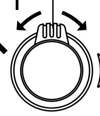
静止画を見る

▶ 再生モード

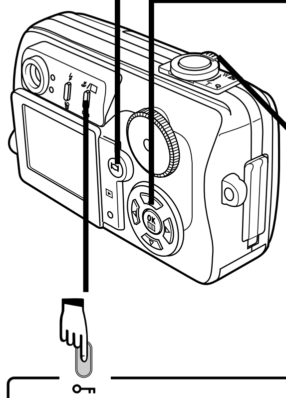
1 レンズバリアを閉じた状態で、◎ ボタンを押します。
- 液晶モニタが点灯し、撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2 十字ボタンを使って、見たい画像を表示させます。
- ムービーには 🎥 マークがついています。→「ムービーを見る」





ズームレバーを使うと、以下のようなことができます。
T：画像を拡大表示
W：複数の画像を一度に表示



画像を誤って消さないようにプロテクト（保護）をかけることができます。解除するには O-π ボタンを再度押します。

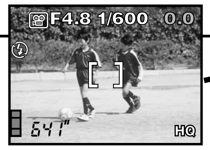
電源を切るときには、◎ ボタンを押します。

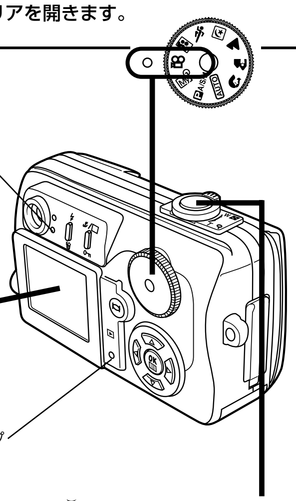
ムービーを撮る

🎥 ムービー撮影モード

1 モードダイヤルを 🎥 にして、レンズバリアを開きます。

2 カメラを被写体に向けて、AFターゲットマークを被写体に合わせます。





3 シャッターボタンを半押しします。
- ピントはこのときに決まります。

4 シャッターボタンを全押しして、撮影を始めます。
- ムービー撮影中は、液晶モニタの 🎥 マークが赤く点灯します。

5 再度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了します。
- カードアクセスランプが点滅して、カードへの記録が始まります。
- 表示されている撮影可能秒数が0になると、自動的に撮影を終了し、カードへの記録を始めます。

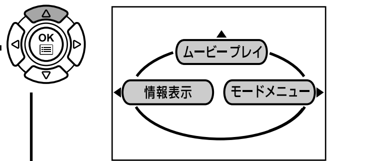
ムービーを見る

▶ 再生モード

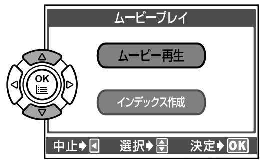
1 🎥 マークのついた画像を表示させます。→「静止画を見る」の手順1、2参照

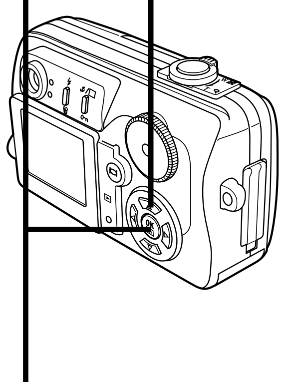
2 Ⓞ ボタンを押します。
- トップメニューが表示されます。

3 △ボタンを押して、「ムービープレイ」を選択します。
- カードアクセスランプが点滅して、カードからカメラへの画像の読み出しが行われます。



4 △▽ボタンを押して、「ムービープレイ」画面で「ムービー再生」を選択します。
この画面から抜けるには、◁ボタンを押します。





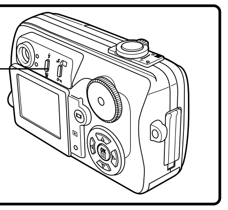
5 Ⓞ ボタンを押して、再生を開始します。
- 再生が終わると、ムービーの最初に戻ります。
- 再生終了後に、再び Ⓞ ボタンを押すと「ムービー再生」画面が表示されます。ムービー再生モードから抜けるには、△▽ボタンを押して「中止」を選択し、Ⓞ ボタンを押すと、ムービー再生モードから抜け、ムービープレイ画面に戻ります。

画像を消去する

🗑 1コマ消去

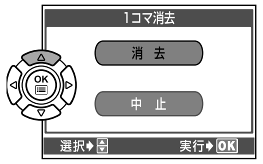
1 消したい画像を表示します。→「静止画を見る」の手順1、2参照
- 画像にプロテクトがかかっている場合は、まず解除してください。

2 🗑 ボタンを押します。



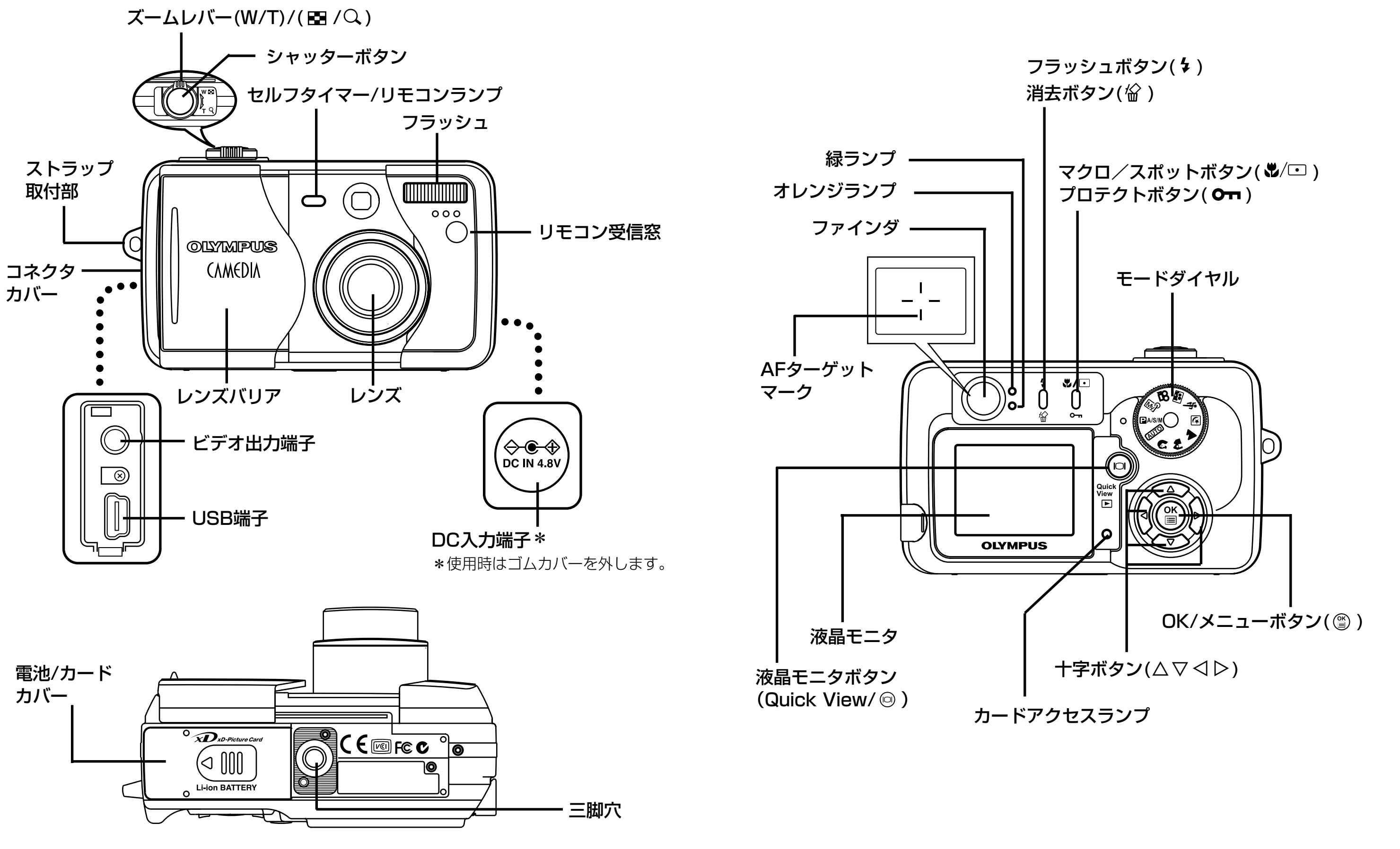
3 △ボタンを押して「消去」を選択します。
- 消去を中止するには、「中止」を選択し、Ⓞ ボタンを押します。

4 Ⓞ ボタンを押して、消去を実行します。



● オリンパスホームページ　http://www.olympus.co.jp/
● 電話でのご相談窓口（カスタマーサポートセンター）
フリーダイヤル 0120-084215
携帯電話・PHSからは 0426-42-7499

各部の名称



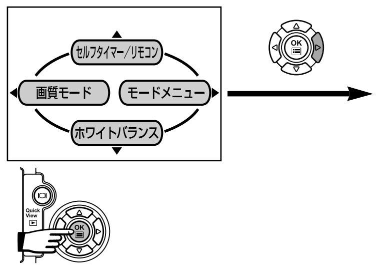
メニューの操作例

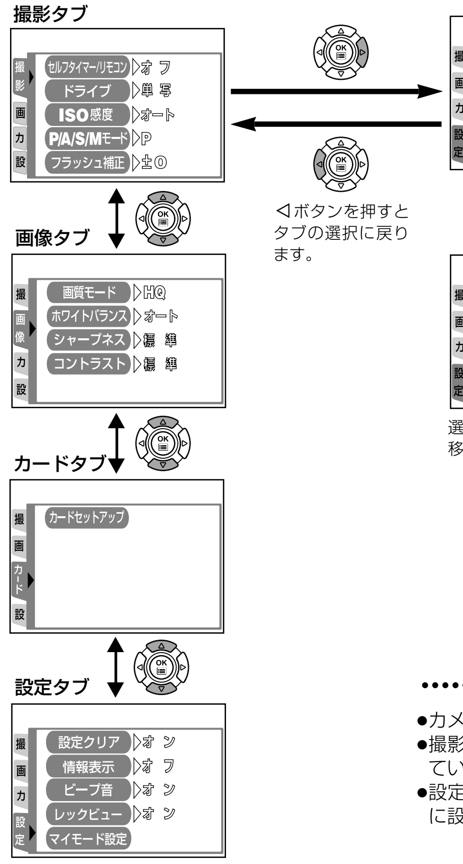
1 ボタンを押してトップメニューを表示し、▷ボタンを押します。

2 △▽ボタンを押してタブを選択し、▷ボタンを押します。

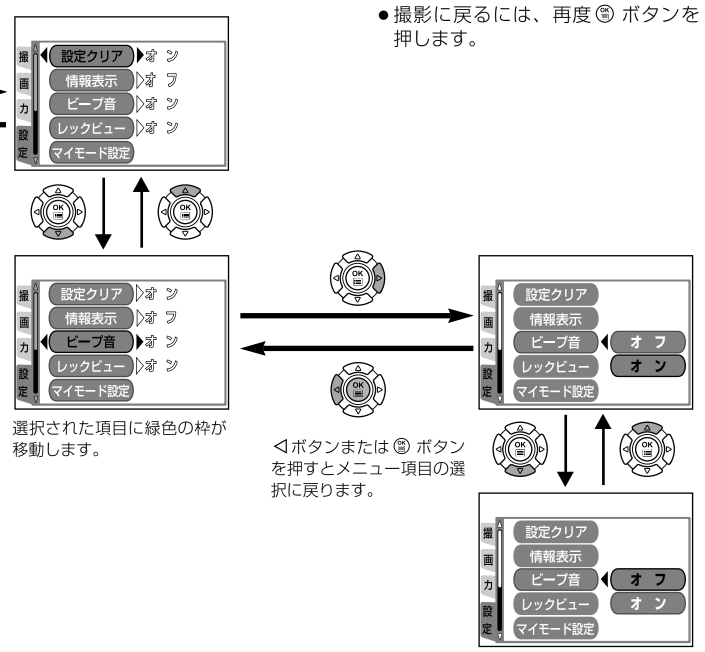
3 △▽ボタンを押して設定する項目を選択し、▷ボタンを押します。

4 △▽ボタンを押して設定を変更します。 ボタンを押すと設定が完了します。
- 撮影に戻るには、再度 ボタンを押します。





◁ボタンを押すとタブの選択に戻ります。



選択された項目に緑色の枠が移動します。

◁ボタンまたは ボタンを押すとメニュー項目の選択に戻ります。

撮：撮影タブ
ISO感度やデジタルズームなど、撮影時に使う機能。

画：画像タブ
画質モードの設定やホワイトバランスの調整など、画像に関する機能。

カ：カードタブ
カードのフォーマットなど、カードに関する機能。

設：設定タブ
日時設定やショートカット設定など、カメラの設定に関する機能。

注 意
- カメラの状態や設定内容などにより、使用できない項目は選択できません。
- 撮影時にメニューを表示した状態でシャッターボタンを押すと、そのとき選択されている設定状態で撮影することができます。
- 設定した内容を電源を切っても保持させておきたい場合は、設定クリアを「オフ」に設定してください。

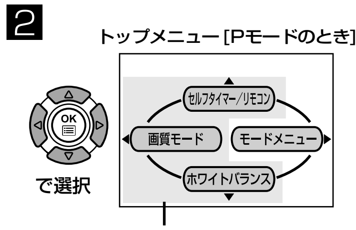
メニューで操作する機能

メニュー画面のながれ

1

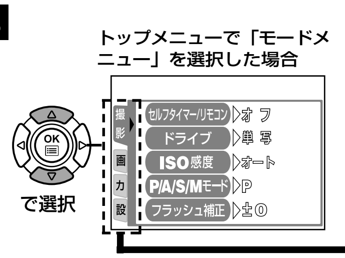
ご注意:モードにより、トップメニューの表示内容、設定できるメニュー機能が異なります（詳しくは取扱説明書をご覧ください)。

2

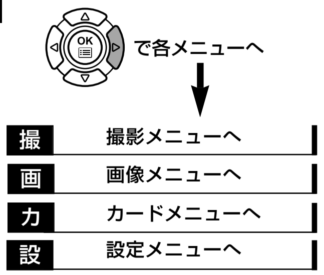


A/S/M モード、 モードでは、ここによく使うメニュー機能を設定することができます（ショートカット設定)。

3



4



撮影時のメニュー機能

撮影メニュー

セルフタイマー／リモコン	セルフタイマー撮影またはリモコン操作をします。
ドライブ	単写・連写・AF連写・BKT（ブラケット撮影）から選択します。
ISO感度	ISO感度を選択します。
P/A/S/Mモード	撮影モードをP（プログラム撮影)、A（絞り優先撮影)、S（シャッター優先撮影)、M（マニュアル撮影）から選択します。
フラッシュ補正	フラッシュの発光量を増減できます。
デジタルズーム	光学ズームの最大倍率からさらに高倍率（約12倍まで）のズーム撮影が可能です。
パノラマ	カードのパノラマ機能を使って、パノラマ撮影ができます。
合成ツーショット	連続して撮影した2枚の静止画を合成します。

画像メニュー

画質モード	撮影する画像の画質を選択します。
ホワイトバランス	光源に応じて、適切なホワイトバランスに設定できます。
シャープネス	画像の鮮鋭度を調節します。
コントラスト	画像のコントラスト（明暗の差）を調節します。

カードメニュー

カードセットアップ	カードをフォーマットします。（カード内のすべてのデータが消去されます。)

設定メニュー

設定クリア	カメラの電源をオフにしたときに、設定内容を保持するかどうかを選択します。
情報表示	画像の情報をすべて表示するか、最小限にするかを選択します。
ビープ音	カメラの操作音や警告音をオフにします。
レックビュー	撮影した画像の記録中にその画像を表示するかどうかを選択します。
マイモード設定	撮影機能を自由に設定して登録します。
スリープ時間	カメラがスリープモード（待機状態）に入るまでの時間を設定します。
ファイル名メモリー	カメラ内に自動的に記録されるフォルダ名／ファイル名の付け方を選択します。
ピクセルマッピング	CCDと画像処理用回路のチェックをします。
モニタ調整	液晶モニタの明るさを調節します。
日時設定	日付と時刻を設定します。
ショートカット設定	使用頻度の高い機能をトップメニューに登録します。
ビデオ出力	再生に使うテレビの映像信号方式に合わせて、NTSCかPALを選択します。
言語/LANGUAGE	画面表示の言語を切り替えます。

再生時のメニュー機能

自動再生 [静止画のみ]

カードに記録されている静止画像を連続して再生します。

ムービープレイ[動画のみ]

撮影したムービーを再生します。また、そのムービーのインデックス作成をすることもできます。

情報表示

撮影した画像の情報をすべて表示するか、最小限にするかを選択します。

プリント予約[静止画のみ]

撮影した画像をプリントできるように、カードに必要な情報を記憶させます。

再生メニュー[静止画のみ]

回転表示	撮影した画像を時計回り(＋90゜)、または反時計回り(ー90゜)に回転して表示します。

編集メニュー [静止画のみ]

モノクロ作成	撮影した画像からモノクロ画像を作成します。
セピア作成	撮影した画像からセピア画像を作成します。
リサイズ	撮影した画像のサイズを変更して、別の画像として保存します。

カードメニュー

カードセットアップ	カードをフォーマット、またはカード内の画像をすべて消去します。（カード内のすべてのデータが消去されます。)

設定メニュー

インデックス表示	インデックス再生時の画面分割数を「4分割」、「9分割」、「16分割」の中から選択します。

設定クリア、ビープ音、モニタ調整、日時設定、ビデオ出力、言語／LANGUAGEの機能に関しては、「撮影時のメニュー機能」内の設定メニューと同様。